

事務事業名	高齢者・健康増進ゾーンの整備			担当	健康福祉部 健康増進課 健康支援係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			増補版施策名	III-2 高齢者・健康増進ゾーンの整備		
施策名	6	健康づくりの推進			☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠					☒ 単年度繰返（開始年度 平成29 年度～）			
予算科目	1. 一般会計				☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市民が生涯にわたって、健康でいきいきと暮らすことができるよう、まちなかに高齢者・健康増進ゾーンを設け、居住環境等の整備を推進する。 ・ 中心市街地に高齢者・健康増進ゾーンの候補地の検討 ・ 中心市街地リノベーション事業と連携による、高齢者・健康増進ゾーンの整備の検討 ・ 防災公園を兼ねた、健康遊具を設置した公園整備の検討							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 高齢者・健康増進ゾーンの配置・導入機能の検討 2年度計画 高齢者・健康増進ゾーンの配置・導入機能の検討及び整備内容の検討				⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア 検討会議の開催 回 - 4 3 3 3 イ ウ エ オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民				⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア : 市民数 人 - 79,542 79,414 79324 78874 イ ウ エ オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 健康寿命の延伸を図る。				⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア : ゾーンの配置及び導入機能の検討 配置等検討 配置等検討 配置等検討 配置等検討 イ : ゾーンの整備内容の検討 ウ エ オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 生涯にわたり、健康でいきいきと暮らすことができる。				⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア : ゾーンの配置及び導入機能の検討 配置等検討 配置等検討 配置等検討 配置等検討 イ : ゾーンの整備内容の検討 ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	0	100	100	100	100	
			人件費計（B）	千円	0	415	417	404	404	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	415	417	404	404	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		高齢化社会が進展するなか、生涯にわたって健康でいきいきと暮らすことができるよう、健康寿命の延伸を図ることが重要である。市民が住み慣れた地域で、生きがいのある充実した生活が送れるよう、居住環境の充実と健康増進施設の整備の必要がある。 特に、第11次市勢発展長期計画増補版に位置付けられたことから、重点的に取り組むものである。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										